

松本高山ビッグブリッジ構想実現プロジェクト始動 世界に誇れる観光エリアを目指して

環境省主導のもと、中部山岳国立公園を世界水準のナショナルパークへと磨き上げていくことを目指し、自然保護を基本としながら地域の活性化・振興を図ろうとする取り組み「松本高山ビッグブリッジ構想実現プロジェクト」がスタートしました。高山市と松本市を結ぶエリアには貴重な自然や観光資源が数多くあります。両市街地をつなぐ横断ルートを「大きな橋(ビッグブリッジ)」と位置づけて、両市の強みを活かしながら、国、岐阜県、長野県、松本市、そして高山市の環境・観光・交通関係団体で組織する中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会が連携して取り組みます。



プロジェクトのスタートイベントの様子
(5月27日・上高地)

なぜ松本市と？

中部山岳国立公園南部地域を東西に挟む高山市と長野県松本市は、明治初期には「筑摩県」として同じ県に属する時期がありました。このよ
うな縁と中部山岳国立公園を絆に昭和46年、姉妹都市提携を締結し、昨年には提携50周年を迎えるなど、松本市とは深い関係があります。

どんなことをするの？

◆観光ルート・体験プログラムの開発・磨き上げ
両市に楽しく長く滞在してもらえ
るような観光ルートや体験プログラ
ムの開発、磨き上げを行います。

◆魅力の情報発信

プロジェクトの取り組みを地域内
外に情報発信し、認知度の向上や
誘客の促進を図ります。

◆受入環境・体制整備

このプロジェクトが持続的に運営
できるような組織の構築や関係団
体の連携方法を検討します。



このエリア一帯が夢や希望を 持てる場所に

環境省 中部山岳国立公園管理事務所

所長 森川 政人 さん

飛驒山脈は、3000m級の山々が
連なり、他を寄せ付けない圧倒的な
迫力があることから「日本の屋根」
と呼ばれるほどの素晴らしい自然が
あります。また、その自然を守ってき
た先人の意志を継ぐ熱い志を持った
人たちが多くいることから、私は、
中部山岳国立公園は、国内で一番の
山岳公園と言って良いと思っています
。この公園を中心としたエリアを

中部山岳国立公園及び周辺地域での取り組み

環境政策推進課長から皆さんへ

高山市は美しい景観や豊かな大自然に恵まれた日本を代表する山岳都市です。現在、中部山岳国立公園および周辺地域では、国や県、大学、松本市、地元関係者の皆様と力を合わせ、内外の多くの皆様に訪れていただけるよう、このエリアに広がる様々な魅力の再発見を行うとともに、この魅力を満喫していただくための仕組みづくりについて検討を進めています。皆さんも今一度、地元の大自然に足を延ばして、その素晴らしいさを体感してみませんか。

さらに活性化しようと「松本高山ビッグブリッジ構想プロジェクト」が始動しました。今後は、高山市と松本市を結ぶルート名称の決定や観光客が楽しめるモデルルートの検証などを行います。地域に住む皆さんと一緒にプロジェクトを盛り上げていきたいです。

